



16 3D寸法線

ツールの呼び出し方

メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「3D寸法線」のアイコンを選択します




3D寸法線のアイコンを選択します

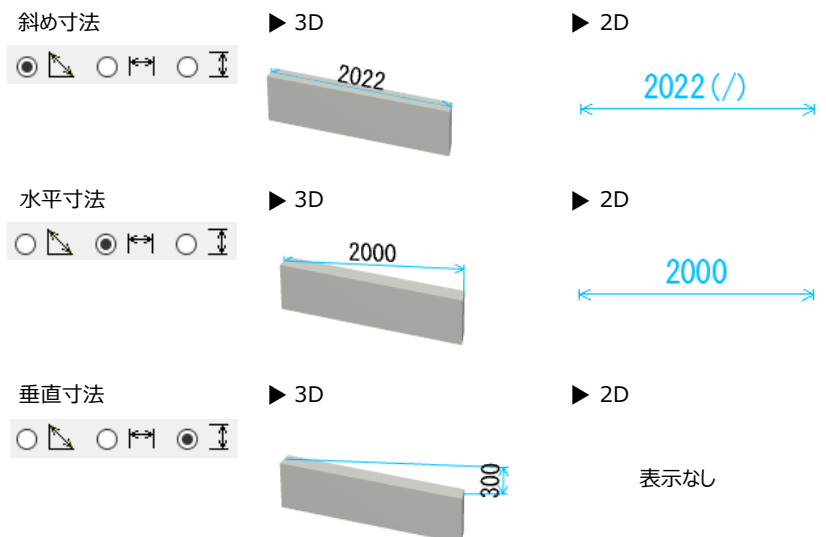
作成方法

部材を選択し各項目を設定後、寸法を計測する位置をクリックします



- 1 文字の高さを設定します
- 2 作成タイプを選択します
- 3 配置するレイヤーを選択します
- 4  をクリック後寸法を計測する位置をクリックします

< 作成タイプについて >



- 5 を入れると、平面図で表示されます
- 6 現在の視点に合わせた表示の回転（3Dのみ）
クリックすると、3D上で現在の視点に合わせて表示が回転します

※寸法オブジェクトは、単独のオブジェクトです。作成時に参照した部材を修正しても、追従しません。

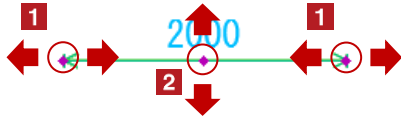


3D寸法線の形状変更

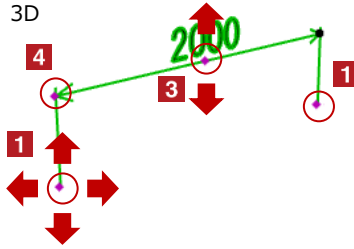
Hotspotをクリックすると、寸法線の長さや引き出し線の位置などの変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの「頂点を移動」で、3D寸法線の引出し線などの変更が可能です
 黒のHotspotをクリック→ペットパレットの「移動」で、3D寸法線の移動が可能です

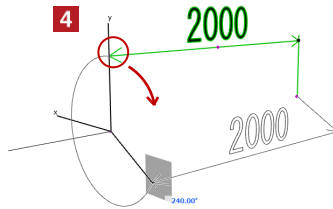
▶ 2D



▶ 3D

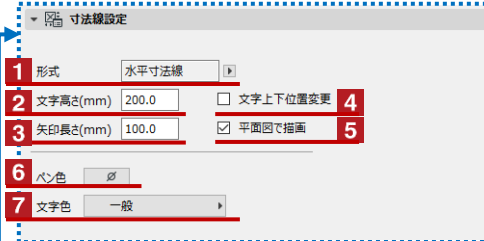


- 1 寸法線の長さ変更
- 2 引出し線の位置変更 (2D)
- 3 引出し線の位置変更 (3D)
- 4 寸法線の回転



オブジェクトの設定

配置した3D寸法線を選択し、「オブジェクトの設定画面 (Ctrl+T)」で各種設定を変更します



- 1 作成タイプの切替
- 2 寸法値の高さ設定
- 3 寸法線の矢印のサイズ設定
- 4 寸法値の上下位置変更
- 5 平面図での表示切替
 を入れると平面図で表示されます
- 6 2D画面上の寸法の描画色設定
- 7 寸法値の表示色設定